

団体名

「ねりま」で育って良かったプロジェクトチーム

事業名



「ねりま」で育って良かったプロジェクト
～未来につなぐ「ねりま」のひと・もの・こと～

メンバー一覧

	氏名	所属
代表	長島 良介	元練馬区教育委員
	矢野 伸一	青少年委員会 前会長
	山本 勝一	石神井太鼓保存会せんば太鼓会長代行/練馬区文化団体協議会 監査
	高橋 俊顕	私立幼稚園副園長/区立小学校PTA会長
	有野 陽一	区立小学校PTA元会長/区立中学校 PTA元会長
	小松 博光	青少年育成地区委員
	長谷川 泰子	青少年育成地区委員
	深野 潤	区立小学校 学校支援コーディネーター
区職員	河野 由紀	氷川台福祉園
	門脇 光甫	区民部戸籍住民課戸籍第一係
	藤田 嵩弘	教育振興部教育施策課教育施策担当係

事業目的

- ① 「練馬にはこんな場所があるんだ！あんな人がいるんだ！」など、自分の住むまちの良さを子どもたちにもっと知ってもらおう。
- ② 子どもを含め、事業に関わるすべての人が、練馬の魅力を区内外に発信し、未来につないでいく人材となる。

3年間の到達目標

= 「ねりま」との関わりと気持ちの変化

“ねりま❤️”の高まり

偶発的・受動的

主体的・能動的

愛着

誇り

到達目標



スタート時

親しむ・知る
発見する



もっと好きになる



伝えたい
残していきたい



より良くしたい
役に立ちたい



3年間の事業実施計画（採択時）

1～3年目共通

体験型バスツアー



区内の子どもたちが事業の対象。
練馬区の魅力的なスポットを巡り、
非日常的な活動をめざす（年1回）

2年目以降の取組

地域のスポット作り

区の特長や子どもたちの発想力を活かした取組。

行政施策との連携

区主催イベントや地域のお祭りへの参加を促す。
シナジー効果を期待。



<振り返り>

ツアー参加者向け交流イベントの開催
（せんば太鼓を通じた交流やコンクールなど）



<発展>

区内で公益的な活動を行っている人・事業者と協力関係を構築⇒4年目以降の持続可能な取組を目指す

情報発信

ツアー結果をもとに、
より多くの人に区の魅力を知ってもらう。

効果検証

アンケートから活動の効果検証。
4年目以降の活動の方向性を整理。

3年間の事業実施計画（検討後）

単年度 プロジェクト

- ・ 小学4年生20名程度を対象とした通年プログラム（参加者固定）の実施。区内各所の見学・体験等を通して、自分の住むまちねりまに存在するたくさんの「ひと」「もの」「こと」に触れ、様々な魅力の発見からその経験の発信までを体験する全7回の連続講座。

複数年 プロジェクト

- ・ 単年度プロジェクトでの経験やさまざまな取材等を通じて、子ども目線の練馬区の魅力をまとめたガイドブックを作成する。親子で出かけたり、地域等の団体が青少年対象のミニ遠足を実施したりする際などに広く活用してもらえるような内容とする。

発信 プロジェクト

- ・ 子どもたちにとって魅力的なスポット・イベント・地域団体活動などへ青年リーダーまたは事業参加児童が取材・体験に赴き、「行ってみた」「やってみた」「聞いてみた」動画を収録する。公式YouTube等を通じ、若い視点での練馬区の魅力を広く発信する。

体験イベント

- ・ プロジェクトメンバーからの提案等で、本プロジェクトの趣旨に合致し、実施が望ましいと判断される企画については、広く参加者を募り、単発イベントとして実施。

※実施にあたり、効果検証（アンケート）や、事業目的に応じた行政施策との連携も行っていく。

令和2年度の事業進行

Planning

単年度プロジェクトの事業内容検討

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、事業1年目からの本格実施は見送った。

→その分、区内で活躍する青年リーダーとの協働で、コロナ禍に対応した丁寧な事業内容の検討に注力した。

Event

キックオフイベントの開催

- ① 「ねりま」で育って良かったプロジェクトのPR
- ② コロナ禍でも子どもたちに楽しんでもらうイベント

→上記2点を目的としたキックオフイベントを開催



1. 単年度プロジェクトの事業内容検討

<p>プロジェクト メンバー会議 (区民メンバー/区職員)</p>	<p><u>プロジェクト全体を俯瞰した内容について話し合いを行う。</u> (原則毎月実施)</p> <p>Ex.) プロジェクトを通して、どんな効果を得たいのか、その効果を得るために何をすべきかなど</p>
<p>青年リーダー ミーティング (区民メンバー/区職員/青年リーダー)</p>	<p><u>実行する具体的な中身について話し合いを行う。</u></p> <p>Ex.) 与えられた条件(対象年齢等)から、小学生と関わりが深い青年リーダーの若い視点で意見を交わす</p> <ol style="list-style-type: none">① 全体ミーティング② 分科会 練馬の魅力を大きく4つの分野(伝統・アニメ・農・暮らし)に分け、それぞれの分野をグループとし、分散開催。



青年リーダーとの協働

○ 青年リーダーとは

仲間づくりのリーダーとして、地域におけるさまざまな活動において中心的役割を担う青少年ジュニアリーダー(小学校高学年～中学生)の養成講習の指導補助を担っている。



(写真上下：青年リーダーミーティング)

○ 協働のメリット

小学生が参加したくなるような企画立案に向けて現場でのノウハウを活かすことができ、青年リーダーの力を存分に発揮してもらうことが可能。

○ 成果

青年リーダー同士、自分とは異なる分野へ意見を出したり、柔軟な発想を企画に取り入れたりすることで、幅広い視点から当プロジェクトを形づくることができた。



1. 単年度プロジェクトの事業内容検討(分科会検討結果)

伝 統

タイムマシーンで旅をしよう！



- ・100年前の小学校にタイムスリップ。どんな勉強・遊びをしていたかを体感。
- ・未来につながる3Rの取り組みを学ぶ。

唐澤博物館

豊玉リサイクル
センター

農

練馬を食べよう！
～収穫・調理・乳しぼり～

- ・練馬大根を収穫し、採れたての大根野菜を味わうほか、23区内唯一の牧場で乳しぼりにも挑戦！

高橋農園

小泉牧場

加藤農園



アニメ

ねり丸かくれんぼ！
～アニメの町・練馬～



- ・アニメの歴史と練馬のアニメの歴史を学ぶ。
- ・アニメの制作過程を学び、かんたんなアニメづくりにも挑戦！

光が丘公園
イチョウ並木

動画工房

暮

緑の風を感じて、吹かせちゃおうツアー

- ・陸上自衛隊練馬駐屯地や栗原遺跡を見学！
- ・こどもの森での野外遊びを体験

こどもの森

練馬駐屯地

城北公園



2. キックオフイベントの開催

🎃 Halloween Deco in 桜台

10月31日(土)14:00～16:00 場所：千川通り沿い

#ねり育の告知、広報活動 #桜台花クラブとコラボ

#練馬こども家庭支援センターとのコラボ(児童虐待防止推進月間PR)



2時間で

約120組の親子が参加！

地域活動団体：桜台花クラブさんご協力のもと実施
地域の力と資源を存分に活かしたキックオフイベント

集客

周知活動

- ★フотスポットの設置
- ★飾り付け体験コーナーの設置
- ★質問！練馬の好きなところは？
- ★お菓子の配布

- ★プロジェクトのPR
→チラシ配布
- ★児童虐待防止月間のPR【行政との連携】
→啓発カード&缶バッジの配布

令和2年度の成果と今後に向けた課題・目標

成果①

事業計画の見直しと企画検討への注力

事業目的を整理し、その達成に向けた事業内容の練り直しやウィズコロナに応じた丁寧な計画づくりに時間をかけることができた。

今後の課題

実際の運営を通して見えてくる課題の整理

初めての試みで、実際にやってみないとわからない部分も多い。実施と改善を繰り返し、より魅力的なプログラムを展開する。

成果②

青年リーダーとの協力体制を構築

青年リーダーにも参加してもらい、多様な立場から意見を出し合う場を設定。小学生との関わりが深い視点での多彩なアイデアが生まれた。

今後の目標

青年リーダーを、練馬の子どもたちのひとつのモデルに

事業を通して、青年リーダーが子どもたちにとってより身近な存在となり、ひとつのモデルとして広く認知されるよう、その活躍を周知していく。

令和3年度の計画

単年度プロジェクト「知ってる? 『ねりま』 発見ツアー 年間計画

※令和3年3月3日時点

※全日とも日曜日開催

刈込体験・「ねりま」博士になろう	5/23 13:00-16:30	石神井公園ふるさと文化館
過去・現在・未来を旅してみよう	7/4 13:00-17:30	唐澤博物館/豊玉リサイクルセンター
「ねりま」の風を感じよう	9/18 13:00-16:00	練馬駐屯地/城北中央公園/こどもの森
アニメのまち「ねりま」を楽しもう	10/24 13:00-17:00	光が丘公園/区民協働交流センター(ココネリ)/ 動画工房
「ねりま」を食べよう	12/12 9:30-16:00	高橋農園/加藤農園/小泉牧場
「ねりま」の魅力新聞をつくってみよう①	1/23 13:00-16:00	区民協働交流センター(ココネリ)
「ねりま」の魅力新聞をつくってみよう②	2/6 13:00-16:00	区民協働交流センター(ココネリ)

※この他、複数年プロジェクト・発信プロジェクトの検討会議や取材を随時行っていく予定

令和4年度以降の展望

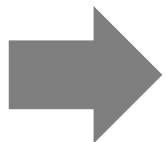
① 複数年プロジェクトの結晶化

- 単年度プロジェクトや追加取材を通して、子ども目線での練馬の魅力をまとめたガイドブックを作成



② 発信プロジェクトの充実

- 区内にある子どもたちに魅力的なスポットを取材し、SNS等で練馬の魅力をコンスタントに発信



事業に参加してくれた子どもたちだけでなく、**区内の子どもたち全員へ**、練馬の魅力を広く発信できるようなコンテンツを準備

令和4年度以降の展望

③ 汎用性のあるモデルづくり

- 区との協働で様々な資源を開拓し、区内団体・事業者等との協力関係を構築するとともに、実績を上げて活動の認知度を高め、地域に密着した活動の定着
- 練馬区の資源を最大限活かした、子どもたちの地域愛の醸成に資するプログラムを積み重ね、汎用性のある事例（モデル）として発信

当団体だけでなく、活動を通じて関係を築いた区民・地域団体やPTAなど
→ **さまざまな主体**がイベントを行う際に、モデルを活用（※）することで、
練馬の良さを知り、地域への愛着をより強く持つ子どもを増やす

※ 例：青少年関係団体の交流事業、子ども会のミニ遠足 など